

公認チームキャンプ地とは

大会期間中にチームが滞在するキャンプ地で、宿泊施設とトレーニング施設(天然芝の練習グラウンド、屋内練習場、トレー ニングジム、プール)が提供できる自治体のみが応募することができ、全ての選定過程はラグビーワールドカップ 2019 組織 委員会が実施します。書類審査や実地審査、各チームによる実地視察など、厳しい審査を合格することで初めて公認チームキャ ンプ地として認定されます。

本市も平成28年12月応募、平成30年7月契約締結、令和元年10月公認チームキャンプ終了まで、2年10カ月の歳月 を費やしました。このことにより、世界レベルのスポーツが開催可能な都市であることが、世界に証明されました。





①地域交流イベント「トンガ代表チームに学ぼう!」 での記念写真/②島原復興アリーナに整備された天 然芝の練習グラウンド/③同アリーナ内に用意され たトレーニングジム/④島原温泉があるチームの宿 泊施設「HOTEL シーサイド島原」/⑤~⑧トンガ代 表チームの公式練習の様子/⑨トンガ代表チームの 来島を歓迎した際のトウタイ・ケフ監督と古川市長





ONE TEAM

10月6日、島原市民応援団約200人を乗せたバス5台は、島原港からフェリーで熊本市へ渡り、試合会場となる熊本県民総合運動公園陸上競技場へ向かいました。

約2万8000人の観衆で埋め尽くされた試合会場は、トンガ代表とフランス代表との1トライを争う激戦となりました。惜敗したトンガ代表でしたが、最後まで諦めずに勝利を目指して戦う姿は、島原市民応援団をひとつにし、16番目のトンガ代表として一緒に最後まで戦い抜きました。



①トンガ対フランス戦の試合開始を前に、興奮する試合会場/②トンガ代表がキックオフ前に行う戦いの雄叫び「シピタウ」を披露/③フランス代表陣地へトンガ代表の強烈なモールで前進/④フランス代表との接戦を終え、悔しさをにじませるトンガ代表選手たち/⑤総勢約200人、バス5台に分乗し試合会場へ向け出発/⑥フェリー船内で移動時間を楽しむ子どもたち/⑦・⑧大会公式メディア陣に取材を求められ緊張気味の親子応援団/⑨~⑪試合開始を楽しみに待つ応援団の皆さん/⑫おもてなし会場内に置かれた巨大ラグビーボールオブジェ/③試合の行方を真剣な表情で見守る古川市長と市民応援団/⑭電光掲示板に紹介される各代表チームの選手たち/⑮~⑰真剣な眼差しで、試合開始を待つ市民応援団/⑱トンガ代表のトライが決まり、歓喜に湧く市民応援団





熊本県・熊本市連携ラグビーワールドカップ 2019 教育プログラム 10月6日トンガ代表戦応援団 島原市民対象



23



